



カトリック長崎大司教区
広報委員会
〒852-8114
長崎市橋口町1-1
長崎大司教館内
Tel. 095-843-3869
Fax 095-842-4460
振替口座 01880-5-2699
発行人
山田 良 秋
印刷所
株式会社 インテックス

祈りの意向	
祈禱の使徒	
・教皇	心の健康についての司牧が確立され、心の病から生じる偏見や差別を克服する助けとなるように「全世界に行って、福音を宣べ伝えなさい」(マルコ16・15)と言われたイエスのことばに従い、私たちが生活の中で福音の喜びを証しすることができるよう
・日本	

本紙9月号既報の通り、7月20日(月)午前10時から大司教館体育館で2026年度教区評議会総会が開かれました。総会のはじめにあいさつした同評議会会長の中村倫明大司教の言葉に、小教区などを代表して集まった参加者は皆熱心に聴き入っていました。長崎教区の一人ひとりに向けられた大司教の思いを、この紙面でお伝えいたします。宣教月間の10月にあたり、あらためて「ともに参加しともに交わりともに宣教する長崎教区」を心にとめ、具体的な行動につなげていくことができるよう努めましょう。

中村倫明大司教のあいさつ

7月20日
教区評議会総会から

「声かけを心がけること、 そして、それに 命がけになること」

おはようございます。

皆様方にはいつも、小教区はもろんのこと、教区のためにもご尽力くださり感謝申し上げます。そして、本日はお忙しい中、また、お暑い中にもかかわらず、こうやってお集まりいただき、ありがとうございます。特に長崎3地区の役員の皆様方や、事務局の皆様さん、今日の資料の準備、この会場準備などありがとうございます。

本日の午前中は、前年度の決算と本年度の予算報告が主な議案だと思っています。その前に、わたしに与えられた時間は、長崎教区の状態報告ということになります。

まず、小教区編成のことです。来年は、引退なさる神父様もおいでになるかもしれません。そうすると、司祭が兼任せざるを得ない小教区が生まれてきます。どの神父様が引退なさるかはまだ分か



りませんので、どこの小教区になるかも分かりませんが、どうぞ、どこになってもいいように少しずつ心積もりをお願いいたします。

それから、すでにカトリック教報の報告において、ご存知のことだとは思いますが、2024年の信徒数は5万5215人でした。2025年の信徒数は5万4475人と、2024年からすると740人減っています。

2023年には、前年よりも632人、2024年には979人、そして、2025年が740人と順調に!?減ってきています。みなさん、これでいいんでしょうか。

確かに、お年で亡くなっていける先輩たちは多いし、出生率は低くなっています。でもそれだけではないと思います。毎年の成人の受洗者は、この長崎教区で100人もいないんです。2025年で54人です。71小教区がある中で、中には6千人の信徒さんがおられる教会が1つ、3千人の教会が1つ、2千人の教会が2つ、千人の信徒さんがおられる教会も10ある中で、長崎全部で大人の受洗者54人です。受洗者をみんなここに呼んでお祝いができる小教区の規模です。少ないと思いませんか？

いろんな理由があるでしょうが、その大きな一つは、わたしたちの宣教の熱意が低くなっていることであると思います。

わたしは、大司教に着任した時からずっと、「声をかけてください」とお願いしています。それは、わたしの司牧の経験からです。わたしが以前にいたいくつかの教会では、1つの教会だけで(受洗者が)30人いた年もあったんです。他の年でも10人以上が多かったです。

どうしてそうだったか？ それは、声かけです。難しいことではないんです。誰でもできること。わたしも頑張ったとは思いますが、その教会の信者さんみんな、真剣に頑張りました。教会に初めておいでになった方々に、久しぶりにおいでになった方々に、いや、いつもおいでになっている方々同士も声をかけ合

い、あいさつしていきました。ミサ以外の時に教会を訪れた方々にも声をかけ、ミサにもお誘いしました。ミサの「聖書と典礼」も、声をかけ

総会開催についての所感

教区評議会 議長 川口哲朗

教区評議会総会では関係者の皆様に多大なご協力をいただき、心より感謝いたします。



一昨年までは長崎カトリックセンターでの開催でしたが、施設の供用終了に伴い、昨年は中町教会聖堂そして今年は空調設備が新設された長崎大司教館体育館を借用し、前日の会場設営には大司教館常駐の神父様方をはじめ、長崎3地区から多数の皆様が協力していただきました。重ねて深謝いたします。

総会当日は中村倫明大司教様を筆頭とする教区評議会関係者の120人

余りが一堂に会し、通常総会と研修会を実施しました。特に11委員会の分科会は神父様方と信徒の皆様の違いを視点で、それぞれの意見を出し合い、非常に有意義で貴重な集いとなりました。この分かち合いを今後も継続して実施できればと感じ入りました。なお、通常総会の議事は報告・提案が簡潔すぎたと猛省しています。

最後に今後も引き続き、声かけと共に皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。(写真は委員会からの発表の様子)

7月20日(月)大司教館で開催された教区評議会総会について参加者から「とてもよかった」との声が聞かれ、このほど議長に感想を寄せていただきました。(広報)

ながら一人ひとりに手渡ししてもらい、ミサの終わりにはお互いに声をかけ合うことができるように、教会の入り口前で、無料でのお茶やコーヒーサービスを行っていました。信者さんも、お友だちやご親戚の方に声をかけて、教会に連れきてくださいました。

先月、滑石教会に司牧訪問に行った時、役員さんとの話し合いの中で、「以前は、はじめておいでになった人には、気がかけて声をかけてくださった人がおられて、その時には洗礼を受ける人も今よりは多かった」と分かち合ってくださいました。

そして、佐世保の大野教会に司牧訪問に行った時には、先月から月に一回、ミサの後、朝ご飯を教会で一緒にしようというのを始めておられます。そうやって、お互いに声をかけ合って交わる機会をつくっていくことを始めています。またそこに、いろんな人を招いていくことができるでしょう。

佐世保の船越教会に行った時のことです。佐世保での集まりの時も話しましたが、船越教会の日曜日、朝7時のミサには50人ぐらいおられました。ご存知のように、あるいはご存知ではないように、教会はバス道路からはちょっと引

込んでいて細い道を通らなければならぬ、目立たない教会です。そんな教会に、しかもあの時、朝早くからお二人の、まだ洗礼を受けておられない若い女性の方がおいでになっていたんです。多分、お友だちか、お知り合いの方が、「教会に行こうよ」とか「教会に行ってみな」とか、声をかけて誘ってくださったんだらうと思います。

まだ洗礼を受けておられない方々が教会に近づくためには、その方々が神様のことを知るようになるためには、洗礼を受けているわたしたちの誰かが、まず、その人に声をかけることが、どうしても必要なんです。

先週の土曜日、下窄神父様の葬儀、そして、その後、赤城の聖職者墓地での納骨が終わってマイクロスコーに乗った時、山里中学校の校庭の柵に「山里中のさわやか運動」と書いてあった看板が見えました。

「山里中のさわやか運動」。3つの運動がありました。1番目は「何と違いますか？ 1番目は「さわやかなあいさつ」。声かけでした。やっぱりそうなんです。みんな知っているんです。声かけは大切だって。

本日の集まりにおいてになって、隣の方に、ちゃんと近くの方に、声をかけられましたか。「わたしは○○教会です。あなたはどちらの教会ですか」などと。

皆さん、長崎教区のテーマを覚えておられますか。「ともに参加しともに交わりともに宣教する長崎教区」では、この一年の優先課題も覚えておられますか？ 2つありました。

1「ともに集い喜びある教会に」
喜んで教会に集っておられましたか？ 典礼や教会行事への参加や交わりを楽しんでおられましたか？ ともに家族や周りの人々に福音の喜びを伝えておられましたか？

2「わたしたちの教会からわたしの家庭から司祭や修道者を」
どうでしたか？ 各地区からせめて一人をとりたいと思いませんか？ でも、この一年、神学生も志願生も誰もいませんでした。

わたしたちは、いろんなことを決めていきます。でも、やっぱり、集まりにしても喜ぶことにしても召命にしても、声かけです。「ミサに行こう」「教会においでになりませんか」「洗礼を受けませんか」などと、ご自分の子どもたちに、孫たちに、知り合いの人に、友だちに、教会においてになった人に、声をかけていますか？ それも、真剣に声をかけているかどうかです。そして、諦めずに声をかけているかどうかだと、わたしは信じています。

皆さんお一人おひとりが、それぞれ、たったお一人でもいい、家族の一人でもいい、お友だちの一人でもいい、知らない人の一人でもいい、誰かお一人を教会に導いてくださると、信徒数は倍になります。お一人で数人を導いてくだされば、何倍にもなっていきます。数の問題ではないかもしれませんが、でもそれぐらいの懸命さがあっていいのではないのでしょうか。

中村倫明大司教のあいさつ

7月20日
教区評議会総会から

「声かけを心がけること、 そして、それに 命がけになること」

↓1面からの続き

声かけを心がけること、そして、それに命がけになること。黙っていて、何もしないでは、順調に減っていくだけです。そういうことを含めて、午後からは、これからわたしたちはどうしたらいいのか、どんなことができるのか、ということの分かち合いの時間になっています。

わたしたち長崎教区は、長い間、外国宣教会にお世話になり、ご指導してもらい、もう日本人の自分たちでやっていきなさいということでも100年間、歩いてきました。でも、まだまだわたしたちは、福音宣教にしても、教会づくりにしても、他人任せで自立していないところがあるかもしれません。

どうぞ、いま一度、「ともに参加し、ともに交わり、ともに宣教する長崎教区」を目指して歩んでいきましょう。他人任せではありません。以前から長崎教区のテーマは「参加し、交わり、宣教する教会」でした。このテーマに、わたしは「ともに」を付けました。

「ともに参加し、ともに交わり、ともに宣教する長崎教区」です。シノドスの「ともに」です。他人任せではありません。あなたも「ともに」です。

どうぞ、これからも「ともに」よろしくお願いします。

そして、普段の評議会の話し合いの時には、午後に行われる分かち合いのようになく、ただ小教区行事だけの話し合いだけでなく、わたしたちがちゃんと福音を伝えていくのか、どうしたら福音を伝えていけるんだらうか、教会を活性化するためにはどうしたらいいんだらうか、人々に喜んで教会に来てもらうために「わたしたちは具体的にこういうことをしていこう」などという分かち合いの時間を取ってくださいながら、小教区でのお働きをお願いいたします。

本日もよろしく願います。

聖コルベの記念日ミサ

8月14日 本河内教会の聖堂で

聖マキシミリアノ・マリヤ・コルベ司祭殉教者(コンベンツアル聖フランシスコ修道会会員)の記念日である8月14日(金)、聖コルベが自ら開いた聖母の騎士修道院と本河内教会において、今

年も記念ミサが盛大にさげられた。院長の山口雅稔師の主司式により午前11時から行われたミサには、70人を超える信徒と修道者が参列した。

特に今年は聖フランシスコの特別聖年にあたって協祭壇に聖フランシスコの聖遺物が安置され、



また翌15日の被昇天の祭日のために祭壇奥の聖母マリア像には特別な装飾(円内)が施されていた。説教の中で山口師は、聖コルベが身代わりとなつて前に進み出た時に、自分自身のことを修道者と言わず、ただ単純に「私はカトリックの司祭です」と答えた大きな謎に迫る内容について語った。ご聖体への信心、司祭職に対する尊敬、ローマ教皇への忠誠、聖母マリアへの愛を表した聖フランシスコの霊性と、はつまりカトリックの信仰そのものを生きたことだった。

山口師は、同修道会の司祭である聖コルベも同じ霊性で生きた人であり、その答えは聖フランシスコの霊性を浮き彫りにするものであったと指摘した。

第48回大村殉教祭 歴史振り返り 信仰思う

子どもたちによるプレゼンも実施



9月6日(日) 第48回大村殉教祭が、シーハットおおむら・さくらホールにおいて450人余りの信徒が集い開催されました。

大村で開催されるこの殉教祭は、殉教の歴史を振り返り、殉教者の信仰

を思いながら、今を生きる私たちの在るべき姿を考えてみる良い機会になったのではないでしょう。

中村倫明大司教の司式による殉教記念ミサの前には、「郡崩れ」をテーマに植松教会により企画されたプレゼンテーションが行われました。

郡崩れは1657年に肥前国、現在の大村市で起きた最大規模の摘発事件です。608人の潜伏キリシタンが捕らえられ、うち411人が打ち首と決まり、大村(放虎原)以外に長崎など5カ所で処刑されることになりました。放虎原で処刑

熊本地震被災地支援
福岡教区に送金
お礼状届く

令和8年熊本地震の被災地支援のため、(福岡・佐賀・熊本)の3県を管轄区域とする「福岡教区とカリタスジャパン」では引き続き募金受付を行っている。長崎教区は8月3日、一葉募金から200万円を福岡教区に送金し(本紙9月号既報)、これに対し、福岡教区のヨゼフ・アベイヤ司教からお礼状が届いた。

2026年「世界宣教の日」 キリストにおいて一つ、 宣教における一致

*2026年10月18日、「世界宣教の日」は100周年を迎えます。

また長崎教区内で呼びかけられた、8月の主日ミサ献金の中からの寄付については、小教区、修道会、団体、個人の皆様から合計825万9037円が長崎教区会計に寄せられ、8月31日に福岡教区へ送金した。

人事異動・任命

(一)は前任地など

(フリリピンから2026年8月16日帰国)
▼フランシスコ会(8月22日付)
小見戸 雄太師 長崎修道院
(東京・聖ヨゼフ修道院)

された131人の首と胴体は、キリシタンの妖術で首と胴体がつながって復活することを恐れ、500メートルほど離れた場所(首塚、胴塚)に別々に埋められました。

プレゼンテーションでは、その首塚跡地の現場において、子どもたちが殉教者の強い意志と信仰について学ぶ様子が紹介され、改めて先代が守ってきたキリスト信仰者の信仰への思いを継承していくことを締めくくりました。



殉教記念ミサの説教は中村大司教から↑(教区ブログ)



来年の大村殉教祭は9月5日に行われる予定です。来年もぜひ大村殉教祭でお会いしましょう。そして、信仰を証した殉教者に倣うことができ、ように共に祈りをささげましょう。

(植松教会 広報)

オンライン参加も可
司教協議会関連行事
▼すべてのいのちを守るための月間2026シンポジウム 10月3日(土)、岡山教会。13時~15時シンポジウム、15時30分~16時30分聖フランシスコ特別聖年記念ミサ。参加無料。会場参加、オンライン視聴も申し込めます。要。日本カトリック司教協議会ラウド・シート・シブ門主催。

▼聖書に親しむ講座 11月23日(月)13時~16時、大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂。詳細はQRコード参照。参加無料。会場、オンラインとも参加申込不要。日本カトリック司教協議会聖書・教理部門主催。



カトリック城山教会 慰めの聖母墓地



所在地 長崎市西町 366 番地 駐車場 4 台分あり
納骨堂 1 基 90 万円 区画: 120cm×120cm
納骨室 1 室 70 万円 区画: 90cm×90cm
骨壺の大きさ 幅18cm・高さ21cm以下
※上記いずれも管理費1区画3,000円/年。
共同納骨室「ラザロの家」条件あり(無縁者、墓じまい)
1 壺 10 万円 骨壺の大きさ 幅18cm・高さ21cm以下
※上記は永代使用権料。

毎年5月にラザロの集い・11月に追悼ミサが墓地で行われます。
毎月第3日曜日(8月、11月、12月除く)にお墓の相談会を実施しています。

カトリック城山教会 慰めの聖母墓地管理委員会

〒852-8023 長崎市若草町6番5号 TEL 095-844-9208



タンスの中身は入れたまま責任ある安全運送!!
(見積り無料・荷造り発送も致します)

貨物保険有り
・一般引越
・荒ゴミ捨て
・学生引越

・小荷物
・遠距離

24時間営業・年中無休
受付時間 7:00~22:00

水浦運送

シモン 水浦 幹雄
長崎市上野町12-3
TEL(095)847-7151
携帯 090-7923-9005



主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二

長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011

24時間営業

FAX(095)843-9896

残すところあと 3 カ月 聖フランシスコ年

2026 年 1 月 10 日～2027 年 1 月 10 日

教皇庁内教院は今年 1 月 10 日付で、教皇レオ 14 世が 2026 年 1 月 10 日から 27 年 1 月 10 日までをアッシジの聖フランシスコ没後 800 年を記念する「聖フランシスコ年」とすることを発表し、同期間に全免償を与える教令を公布した。

全世界のカトリック教会が過

■「聖フランシスコと聖クララの聖遺物」の巡回展示の日程と場所

① 8 月 20 日(木)～10 月 30 日(金) (ただし、③のため 10 月 3 日(土)～5 日(月)の期間を除く。)

② 11 月 1 日(日)～2027 年 1 月 31 日(日) 東長崎教会 9 時～17 時

③ 10 月 4 日(日)浦上教会 (長崎中地区講演会と主日ミサにおいて顕示)

(注) 3 カ所とも葬儀などのために入れない場合があります。

※1963 年 8 月 16 日付「聖フランシスコと聖クララの聖遺物」に関する真正証明書には、「これらの聖遺物は、アッシジの聖フランシスコの遺灰(遺体の一部であり、アッシジの聖クララ(おとめ)の遺髪であることとを証明する」とある。

聖フランシスコ年の今年、長崎教区はアッシジの聖人たちの聖遺物をこの 8 月からいくつかの場所で開催するとし、これを収める箱の制作を栄光式典社(西村勇二代表)に依頼していた。

その後同社から、聖遺物を収めて持ち運ぶことができ、顕示台としても使用できる箱一式を寄贈いただいた。数カ月かけて制作にあたった同社の田中昇さんにお言葉を寄せていただいた。

木材の温もりや 色合いを生かしながら

栄光式典社 田中昇

このたびは、大切な聖フランシスコの遺灰と聖クララの遺髪を収めて展示できる箱の制作依頼をいただき、誠にありがとうございます。



聖遺物の箱を開くと、右側はタウ十字とそとの中央には、聖フランシスコの遺灰と聖クララの遺髪が収められている。左側は、聖遺物に関する真正証明書が納められている。(納品時の 2026 年 8 月 7 日、大司教館)

はじめは聖遺物を引き立てるようにシンプルな箱をイメージしていたのですが、閉じた時にただの箱になってしまうので側面に飾りをつけることにしました。どのようなデザインがいいのか何回も試行錯誤しながら透かし彫りを四面に取り入れたのですが、次は表面と裏面が少し寂しい感じだったのでここに飾りを入れることにしました。

普段は目にする機会が少ない聖遺物も、この箱と一緒にいる人教会などを訪れて、見る人何かに感じていただき、日々の信仰や次の世代へ歴史を伝えていけるものとなれば幸いです。



2026 年 8 月 15 日付 お知らせ

長崎大司教 中村倫明

レオ 14 世教皇様は聖フランシスコの死後 800 周年を記念して「聖フランシスコの特別聖年」を今年 1 月に宣言されました。来年 1 月 10 日までのこの聖年の期間に、アッシジのジュゼッペ・ブラチド・ニコリーニ司教様から 1963 年に長崎教区に送られていた「聖フランシスコと聖クララの聖遺物」を顕示できることを大変うれしく思います。

を回復し神や教会の共同体との関係を強化する機会となり

免償を受けるには、キリスト信者はふさわしい心構えを有し、一定の条件を果たすことが求められます。また、免償は自身のためばかりではなく、代願の形で煉獄の死者のために受けることができま

また同教令では、罪から離れた魂で、聖フランシスコの年に巡礼の形で参加するすべての信徒に対しても、「聖フランシスコにささげられた、または彼に関連する世界のいかなる地域の巡礼所であれそこを訪れ、そこで敬虔に聖年の典礼にあずかり、少なくとも適切な期間を敬虔な瞑想に費やし、聖フランシスコの模範に倣い、隣人に対するキリスト教的慈愛の感情や人々間の和解と平和への真の願いがあふれ出ることを求め、終わりに、主の祈り、使徒信条、聖母マリアへの祈り、アッシジの聖フランシスコ、聖クララ、そしてフランシスコ会のすべての聖人への執り成しの祈願を唱えることこの免償が与えられる」と記されています。

「免償」についての詳しい説明は以下のものをご覧ください。

https://www.cbj.catholic.jp/2026/01/20/36321/

※教皇レオ十四世 フランシスコ会家族総長への手紙ーアッシジの聖フランシスコ没後 800 年にあたって

「免償」については、主が自ら、私を彼らの中に導いてくださった」からだと▲彼はサン・ダミアノ教会で、十字架上のイエスさまから、「壊れかけた私の教会を建て直しなさい」との言葉を受け、精いっぱい応えていく▲彼は生涯祈り続けた。「主よ、あなたはどなたですか。私は何者ですか」「私は虫けらのようなものに過ぎない、あなたの僕です」「主よ、私はあなたを愛したいのです」と▲「わが神、わがすべて」。すべては神からの賜物なのだから、私たちは当然、神のもとにあつて兄弟姉妹。貧しくとも分かち合う生き方に、真の喜びと幸せがあるはず。フランシスコの生涯のすべては、そう教えてくれた十字架のキリストへの「愛の応答」だった▲ウンブリア平原に広がるアッシジの街は、薔薇色の建物、豊かな緑に見事に調和して美しい。かつてアッシジを旅した時、ある老夫婦が、見ず知らずの私たちに、ピザとリンゴを分けてくれた。聖人の思いがこの街に息づいているように感じた▲キリスト中心の聖人に倣い、「回心」の恵みを祈りたい。(健)

また、この聖年で与えられる全免償のおめぐみは、「罪のゆるし」を通して、罪の結果である永遠の罰はゆるされるものの、果たすべき償いが残り、その償いをすべて免除してくれるものです。この免償は、わたしたちの心を罪の重荷から解放するだけではなく、信仰

このたびの教皇庁内教院の教令は、より具体的には、第一、第二、第三正規および世俗修道会のフランシスコ会の家族のメンバー、それから、聖フランシスコ

「また高齢者、病人、彼らの世話をする者、そして重大な理由で自宅を離れられないすべての人々は、もし聖フランシスコの年の聖年の典礼に霊的に参加すれば、罪から離れ、三つの通常条件(ゆるしの秘跡、聖体拝領、教皇の意向での祈り)をできるだけ早く満たす意向を条件に、慈悲深い神に祈りや苦しみをささげるこ

※「巡礼の 20 日前後の期間内」とは、巡礼開始の 20 日前から巡礼終了の 20 日後までの期間を指す。



アッシジの聖フランシスコ大聖堂

自分の声で伝えるために

高校生沖縄平和学習

8月17日(月)～19日(水)、教区平和推進委員会の主催で沖縄平和学習が行われた。高校生8人(神学生2人を含む)、中村倫明大司教を団長として計13人が参加した。各地の戦跡、資料館などを巡りながら、唯一の地上戦が行われ、今も広大な戦禍の痛み、苦しみを我



が身に覚えながら制作された絵は、平和へ向かう姿勢を問いかけているようだった。

多数の負傷者、住民が避難したガマ(洞窟)での折り、バスの中でそれぞれに残ったことの分かち合いは、中村大司教が繰り返し諭された「知識としてだけでなく、体験を通して学ぶ」ことの大切さを深めるものとなった。

「自分たちの声でこのような実態を伝えていきたい」「参加者1さん」「同じ年ごろの子たちがこんな重い体験をしてい

たなんて。忘れないようにしたい」(参加者Tさん)

例年のように、名護教会、安里教会ではウェイン・バント司教様、主任司祭、信者さん方とミサにあずかり、もてなし

する予定です。

核なき世界基金

被爆地からのチャレンジ
みんなで
いのちと地球を守ろう！
<https://nuclear-free.net/>

ペトロ
小島榮神父 帰天

8月29日午後11時56分、急性心不全のため長崎市の虹が丘病院で逝去。88歳。

1937年10月11日五島市生まれ。浜脇教会で受洗。中町教会出身。64年3月19日大浦天主堂で司祭叙階。同年8月稲佐教会助任。66年長崎公教神学校(現長崎カトリック神学院)、70年中町助任、71年宝亀主任、74年浦上助任。77年1月桐助任、同年5月から主任。83年長崎公教神学校校長、92

年アメリカ研修。93年浅子、2001年田平、05年福江、09年浦上の各教会で主任を務めた。15年4月に引退し、その後は大司教館に居住していた。

通夜は8月31日浦上教会信徒会館、葬儀ミサ・告別式は9月1日同聖堂で中村倫明大司教の司式により行われた。

通夜では、同じ中町教会出身の松田聡史師が説教をし、小島師が長崎公教神学校の校長を9年間にわたって務め、現在の長崎教区司祭の3分の1以上の養成に関わったことについて語った。そして、引退後も小神学生を孫のようにかわいがっていたと振り返り、「小島神父様は最後まで養成者でした。長崎教区の特に司祭のために、大きな役

会葬御礼

カトリック長崎大司教区司祭ペトロ小島榮神父の逝去につきましては、早速丁寧なる弔問・弔電ならびにご香典を賜り、葬儀の際にはご会葬・献花の弔意に接しましたうえ、各教会・修道院で故人のために祈りいただき、誠にありがとうございました。御礼申し上げます。

一々拝眉のうえ御礼申し上げるべきところ、紙上をもって代えさせていただきます。

二〇二六年九月
カトリック長崎大司教区
大司教 中村 倫明

植松教会に納骨堂完成

守護聖人から名付け「聖ヤコボ館」

残暑が厳しい8月16日(日)、植松教会敷地内に建設された納骨堂の祝福および命名式が、中村倫明大司教の司式により執り行われました。



命名式では、今回の納骨堂建設には、平和の使徒となる派遣の祝福を大司教からいただいた。それぞれの地で平和の種を蒔いてきた。



近年、核家族化が進み、先祖代々守ってきたお墓を維持することが困難な世帯が増えつつあります。このような時代の変化に伴い、共同体の中で安心して眠れる場所を求める声が年々高まり、植松教会信徒の切実なニーズと熱い祈りに応えるべ



く、このたびの納骨堂建設の運びとなりました。納骨堂は、お墓の継承に悩む信徒の不安を解消するだけでなく、亡くなった兄弟姉妹を神の家族として共に記憶し、祈りをささげ続ける祈りの場でもあります。

毎週のミサの前後など、いつでも気軽に立ち寄り、天に召された方々との交わりを深めることができることでしょう。

(植松教会 広報)

ロベルト・グーゼンス神父

(淳心会)



8月15日、老衰のため姫路市の仁豊野ヴィラで逝去。97歳。

1928年ベルギー生まれ。49年入会。54年9月12日司祭叙階。55年来日。

マリア・イシドラ川上カズヨ修道女

(純心聖母会)



9月2日逝去。98歳。平戸市生まれ。宝亀教会出身。1954年初誓願、63年終生誓願。

46年、学生志願者と

56年長崎小神学校(現長崎カトリック神学院)、59年姫路・淳心学院で教鞭をとる。60年大阪教区(当時)の神学校校長、66年姫路助任、67年ベルギー・淳心会宣教振興活動指導。70年堺助任。73年社会福祉法人淳心会保育園平和の園園長、東北教会責任司祭。82年堺教会宣教司牧チーム・メンバー。88年金剛主任、92年モンゴルで宣教。2002年帰国、東京

真正会館で指導。05年金剛、堺ブロック協力。08年東京・オリエンツ修道院で静養。14年仁豊野の淳心会レジデンスで引退。長崎教区小神学生の教育が淳心会に委託された1956年、マルセル・ベック院長(2005年逝去)とシリル・スメット師(2020年逝去)と共に最初に着任した3師の一人。長崎教区の神学生養成に尽力された。

なった。戦後の貧しさの中でも神の豊かさに触れ、志願者同志の召命を育て合ひ、恵みの時を過ごした。この志願者たちの一致の力は、会の大きな慰めと勇気となった。

初誓願後、長崎、鹿児島、純心学園で家庭科教諭として教職の道を歩み、特に鹿児島純心短期大学での28年間は、いくつもの役職をこなしながら精

いっぱい学生たちにキリストを伝えた。2021年4月から療養のためロザリオの聖母修道院へ移動。お話が大好きで、甲高い声での応対はシスターの特徴であった。

今年4月に入院、5月に介護老人施設へ。8月9月2日に心不全のため静かに御父のみもとに召された。

19世紀末のレオ13世の回勅「レールム・ノヴァールム」を嚆矢とする教会の社会教説の歴史と原理を概観し、人工知能に代表される高度なテクノロジーが生活の領域にまで深くかかわっている現代において、それが示す指針をどう適応させるかを考察したうえで、人間が真に人間らしくあるにはどのような道をたどるべきかを説く。9月30日発売。カトリック中央協議会、税別1400円。

新刊良書

★フランススコとともに祈る



アッシジの聖フランシスコ帰天800年を記念してフランススコ会日本管区が新たに厳選・編訳した祈りを綴めた1冊。世界中の聖フランシスコの兄弟姉妹たちに愛され祈り続けられている聖フランシスコ自身の祈り、フランススコ会の兄弟姉妹の祈りは、神への賛美と平和の願いに満ちている。各祈りにフランススコ会会員による解説付き。総ルビ付。ドン・ボスコ社、税別600円。

★回勅 人間の偉大さ— AIの時代における人格の擁護



著 教皇レオ14世

2027年8月
ワールドユースデー
WYDソウル大会
勇気を出しなさい。
わたしはすでに世に勝っている (ヨハネ 16:33)
大会テーマ
2〜3年に一度、各地で開催されているWYD世界大会が、次回は2027年8月に韓国のソウルで開催されます。アジアでの開催は1995年のマニラ大会以来で、日本の教会からも多くの若者がソウルを訪れることが期待されています。
教区での日々(教区大会) 2027/7/29(水)〜8/2(日)
本大会 2027/8/3(火)〜8(日)
申し込み詳細は2026年秋発表(中央協議会HP参照)

大田白蟻研究所

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士
代表者 大島和彦
(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号
電話 095-822-8436
FAX 095-822-8488

世界平和へ祈りを…

明治石材

長崎本店 長崎市長町13-1
大村店 大村市赤佐古町287番地
HP <http://meijisekizai.shopinfo.jp>

業務内容

お墓建立
納骨堂販売
お墓のリフォーム
霊名彫刻

電話 (095)846-3598
電話 (0957)50-3008

Nagasaki Spaghetti

株式会社サンフリースド・ロさま麺工場
長崎市西出津町2528-1
TEL(0959)23-0610
FAX(0959)23-0611



相続登記はお済みですか

土地・建物・会社・法人の登記手続 相続手続
遺言書の作成 相続土地の国庫帰属手続 など
まずは、お電話を!!

司法書士 行政書士 山下 緑 事務所

ミカエル 山下 緑
〒854-0014 諫早市東小路町10-21 電話 0957-22-6177